

平成 21 年 10 月 21 日

5 年生保護者の皆様

広島市立白島小学校
校長 常國 清

平成 21 年度「基礎・基本」定着状況調査結果について

平成 21 年 6 月 9 日（火）、広島県内の小学校 5 年生全員を対象に、国語・算数における前学年までの学習内容の定着状況調査と、生活と学習に関する意識・実態についての質問調査を行いました。県・市・本校の通過率（％）は次表の通りです。

	広島県	広島市	白島小
国語	75.0	74.0	68.1
算数	79.8	78.4	75.6

本校では、次のように分析し、今後の指導に役立てたいと思っております。

国語 全体的に、読むことに関しては基礎的、基本的な力についてはついていますが、聞くこと・書くこと・言語事項の 3 つの領域の基礎的、基本的な力は不足しています。

今後は、(1) 要点をまとめながら集中して聞く力を育てること、(2) 文の構成や段落の続き方を意識して文章を書く力を定着させること、(3) 文章や段落相互の関係を考えながら読み取る力をつけること、(4) 漢字の読み書きの力を定着させ、語彙を増やすようにしていくこと、を重点的に取り組んでいくことが大切であると考えています。

そこで、集中して聞く力を育てるために、聞くときにメモをとらせたり、話を聞いた後に内容を書かせたりする活動を増やしていきます。また、文の構成や段落の続き方を意識して文章を書く力をつけるためには、見学や日常の授業の中で、繰り返し大事なことを考えてメモさせることやナンバーリングなどでまとめさせることを意識させたいと思います。また、日頃から相手を意識し、目的を持って書かせることを指導します。日常の授業や係活動などでも、様々な相手や場面を設定して書かせる活動を取り入れます。さらに、日記など書く機会を増やし、書き表すことの楽しさを味わわせるようにしていきたいと思います。

文章や段落相互の関係を考えながら読み取る力をつけるためには、指示語や接続語を手がかりに文章や段落相互の関係を考えさせ、理由に着目しながら的確に内容を読み取ることができるようになっていきます。また、読書の質を高めるような指導をしていきたいと思います。

漢字の読み書きは、「帯タイム」や授業の中で繰り返し漢字や語句の練習をさせていきます。読書・意味調べなどを通して、語彙を増やしていくようにしていきます。

算数 全体的に、量と測定・図形の 2 つの領域の基礎的、基本的な力についてはついていますが、数と計算・数量関係の 2 つの領域の基礎的、基本的な力は不足しています。

今後は、(1) 応用力・文章題を読み取る力を養うこと、(2) 自分の考えを発表したり、理由をあげて説明したりする力を養うこと、(3) 算数的活動を授業や日

常生活の中で取り入れて量感を養うこと、が大切であると考えています。

そこで、柔軟な考え方・応用力をつけるために、発展問題や補充問題に取り組みせていきます。

また、文章題を読み取る力をつけるために、問題文を視写させたり、声に出してリズムよく読んだりさせて、学習課題を明確に意識させるようにしていきます。

自分の考えを発表したり、理由をあげて説明したりする力を養うために、学習課題を明確に意識させ、既習事項を基に自力で解決できるように考える時間を保障します。また、図や文章でまとめさせ、一人一人の考えを発表させる中で、合理的な解決方法に気づかせていくようにしていきます。このような学習過程を繰り返すことで、児童の自信や思考力・コミュニケーション能力を育てていきたいと思います。

量感を養うために、時刻・時間・長さ・面積などの量感を授業中で身につけさせるとともに、日常生活の中でも意識的に使わせるようにしていきます。

生活と学習に関する意識・実態調査

全体的には基本的な生活習慣はほぼ確立されていると思えます。しかし、早寝・早起き、学習習慣については、できている児童とそうでない児童との個人差があります。また、個々には、自分にはよいところがあると思っているが、自分のよさは周りの人から認められていると思っていない、読書の習慣が身につけていないなどの課題があります。また、物事を解決したり決めたりするとき、なぜそうしたのかという理由をよく考えていなかったり、人に順序よく言葉で伝えられないと感じている児童が多いようです。コミュニケーションの力、言葉の力、考える力を育てていく必要があります。

これらの力を育てるためには、学校と家庭が互いに協力し、基本的な生活習慣の確立を図るため、「生活・学習リズムカレンダー」を効果的に活用して、児童に返していく必要があります。また、児童が自分の力で考え、自分の考えを相手に伝えていく気持ちや、ねばり強く話し合っ物事を解決していこうとする態度を育てること、自分のよさが発揮され、認められる場を多く持ち成長が自覚できるようにしていきます。

以上の点をふまえ、今後学校では、より一層の基礎・基本の定着を図るため、朝の読書・帯タイムを継続しつつ、一人一人をしっかりと受けとめ、個に応じた指導を工夫しながら授業の充実を図りたいと考えています。

子どもたちに確実な力をつけるため、ご家庭でも機を逃さず、肯定的な声かけなどはげまして、やる気を引き出し、自信をもって学習に取り組めるようご協力をお願いいたします。

なお、お尋ねになりたい点がございましたら、お気軽に学校へお問い合わせください。

(221-3012 教頭 松崎)

また「ホットライン教育ひろしま」(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/syoutyu.htm>)にて、広島県全体の結果速報等をお知らせしておりますのでご覧ください。

(参考...過去4年間の通過率(％))

	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度		
	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小
国語	75.3	73.7	72.7	78.3	78.1	79.7	64.2	63.7	63.4	67.4	66.4	65.6
算数	80.0	77.5	83.0	80.2	79.0	76.4	75.6	75.8	72.9	76.1	75.8	74.5